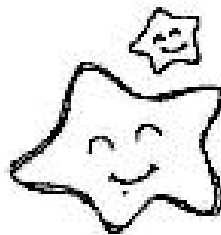


QSK

にぬふあぶし

No.260 ^ね子の方向の星(北極星)



追悼 當山勝吉さん (沖福連理事副会長)

8月29日、闘病中の當山勝吉さんが、入院先の病院で亡くなった。享年74歳であった。

読谷村精神療養者家族会の会長として、高齢の家族の皆さんを、定例会に車で送り迎えする役割や、泊まりがけの家族交流の音頭をとった。2013年からは、沖縄県連(沖福連)理事に就任し、副会長として、県内の家族会を取りまとめ、各地の家族会とお互いに交流を進めるなど、家族会活動を常にけん引する存在であった。

地元、読谷村葬祭場で営まれた告別式には、500名を超える縁故者、知人、友人が各地から駆け付け、故人の名望の広さを伺わせた。

1945年3月に生まれた當山さんは、沖縄戦から米軍統治、そして日本復帰と、翻弄された戦後の沖縄とともに歩んでこられた生涯であった。建設会社を興し、地元業界の会長、そして読谷村議会議員を、3期12年務めた。

地域を良くするためには、家族会が元気でなければと、民生委員の皆さんや福祉事業所とともに、昨年2017年4月には夏苺郁子先生の講演会を開催し、当日は会場を埋め尽くす盛況であった。そのあとを受けて、當山さんが準備してきたのが「家族による家族学習会」であった。

亡くなる前月の7月18日には、念願の「家族学習会」を読谷村において初めてスタートさせた。その開会の席において、主催者あいさつをされた元気な姿が、まぶたに焼き付いたままだ。

もう20年近く前のことになるが、琉球大学精神科の平松先生と沖福連が協力して、毎月一回の出前学習相談会を県内各地で巡回開催していた時に、当時、村会議員をしていた當山さんが「この病について学びたい」と足を運ぶようになった。毎回のように熱心に参加をされ、質問を飛ばしていた。

2012年1月に、九州ブロック大会の順番が沖縄に回ってきた時には、読谷村での開催を大成功に導いた。この大会で記念植樹した桜の木が、ようやく来年にも花をつけようという時に先立たれた當山会長。人にやさしい地域作りのために、家族の元気を呼びかけ続けた会長の思いは、沖福連、そして家族一人一人のこころに刻み込まれ、花咲く日は近い。

當山勝吉さん、安らかに。そして、いつまでも見守っててください。



記 高橋年男(沖福連専務理事)

沖福連 家族大会

開催の趣旨

沖福連では、今年度の家族大会を下記のとおり、10月13日(土)沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハにおいて開催することになりました。

今年の大会では、精神障害者と家族が地域での生活を続けることが出来るように、〈コミュニティー・メンタルヘルス〉のネットワーク構築に取り組む、精神科医の小渡陽順さん、そして、家庭や地域で環境調整で困っている現場や「家族への暴力」に即時に即応する訪問、アウトリーチ支援を行ってきた訪問看護の新垣恵美子さん(訪問看護ステーション・リズム)のお二人に、実践活動を紹介していただきます。

この機会に是非とも、当事者・家族の抱える悩みを持ち寄り、相談する機会にしていいただければ幸いです。どなたでもお気軽にご参加ください!! 参加費は無料です。

また、研修終了後、講師や報告者の皆さんと懇親会(食費は自己負担)を持つことにしています。

※ なお、懇親会(17時~)と宿泊は、人数を把握するために、事前に申し込みをお願いしております。下記の連絡先に、お問い合わせください。

日時：10月13日(土) 14時~16時30分(受付開始：13時30分)

会場：沖縄かりゆしアーバンリゾート ナハ(6F)

那覇市前島3丁目25-1(098-860-2111 とまりん内)

問合せ連絡先：沖福連 098-889-4011(事務局：高橋、比嘉)

『地域包括ケア時代』

- 地域包括ケアシステムは・・・今後の支援体制の中心的な
方向を定める重要な概念である。
- 当事者を中心とした協力体制、ネットワーク作りがめざされている。
- 治療中断や未受診などの事例への対応で大きな困難を抱えている。
地域包括ケアは、多職種・多機関の共同作業の積み重ね
・・・地域のネットワークが育ってくる。

イタリア地域精神保健セミナー 開催要綱

つながる ～イタリアの風を沖縄へ～



1978年5月、イタリア精神保健法（通称：バザーリア法）が制定されました。

脱施設化に踏み出した世界初の精神科病院を廃止する法律です。

バザーリア法制定40周年を記念し、日伊合同精神保健フォーラムが今年5月に開催され、日本から参加した40名がイタリアの風を日本に持ち帰りました。なんと！！イタリア帰りの仲間が、11月に沖縄に集います。

そこで、沖縄にもイタリアの風を届けようと下記の通りイベントを開催します。

- A. 11月16日（金）19：00～21：00 日伊合同精神保健フォーラム報告会
会場：沖縄県体協スポーツ会館 会議室（奥武山運動公園内）
参加費：無料（資料代1,000円）
- B. 11月17日（土）12：00～18：00 交流会 ～沖縄の仲間とつながろう～
会場：美らSUNビーチ（豊見城市）
参加費：調整中（3,000円～4,000円）
*12時スタートですが、途中参加OK



多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【問合せ】 〒901-1104 南風原町字宮平 206-1

TEL 098-889-4011 FAX 098-888-5655

(知念美香、比嘉むつ子)

無料法律相談やってます

毎月第2火曜日 14時～15時 てるしのワークセンターにて、障がい当事者およびその家族を対象として、法律相談を始めました。前日までに、電話予約をおねがいします。 TEL 098-889-4011 FAX 098-888-5655

平成30年度 那覇市委託事業 **こころの健康講演会**



「街で暮らす—こころの病について考える」

那覇市では、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指し、精神保健福祉について正しい知識をもってもらうことを目的として講演会を開催しています。

全国の精神科病院を取材する写真家の大西暢夫氏の講演と当事者の方々のお話に耳を傾けてみませんか。お気軽にご参加ください。

日 程 : 平成30年10月20日(土) 13:30~16:30

場 所 : 那覇市保健所 3階

(那覇市与儀1-3-21 沖縄赤十字病院となり)

対 象 : 那覇市在住、在勤、在学の方

定 員 : 50名 参加費 : 無料

内 容 : 13:30~15:00 講演会「ひとりひとりの人 一僕の撮った精神科病棟—」

講師 大西暢夫 氏 (写真家・映画監督)

15:15~16:30 座談会「街で暮らす —当事者と家族の日常—」

当事者および家族の方からのお話に、耳を傾けてみませんか

<申込先> 電話: 098-836-6971 平日 9:30~19:00

担当: 濱川 大城 鈴木

<主 催> 那覇市地域生活支援センターなんくる

編集後記

我が家の庭に兄がマンゴーの木を植えて25年余り。枝ぶりは見事なのに全然実をつけず、すっかり野生化。腹をたてた母が木に向かって「もう切るよ」とボツリ。危機感を感じたのか、この7月に70個余り、甘くて立派な実をつけました。「時には厳しさも必要」「やればできる」と母とマンゴーから学ぶ平成最後の夏でした。(は)

編集: 公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会

会長 山田 圭吾

〒901-1104 南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX 098-888-5665

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行: 九州障害者定期刊行物協会

〒812-0024 福岡市博多区網場町 1-17

福岡パーキングビル 4階

電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723

定価: 10円(会費に含まれる)